

## HS-2756 陳氏スーチャートラベクロトミー糸

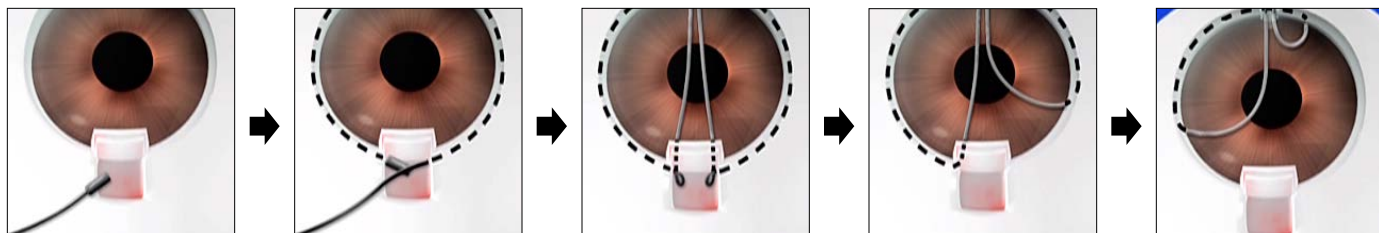
360° スーチャートラベクロトミー (S-LOT)変法

360° S-LOT変法は従来のトラベクロトミーの進化型ともいえる術式です。1995年に発表された、プロリン系による全周切開法（以下、原法）を改良した変法は、成人の原発開放隅角緑内障と続発開放隅角緑内障を対象とした研究にて、通常の120°切開と比較しても、術後平均眼圧、抗緑内障点眼数、成功率の全てにおいて優れており、ぶどう膜炎によるSOAGにおいても、POAGとほぼ変わらない成績が得られました。

変法は、4×4mm強膜弁を作製して行い、繊維柱帯・Schlemm管内壁部から虹彩脱出を起こさず、隅角にストレスを与えず安全に切開する為、あらかじめ繊維柱帯の一部を針で破り、そこを起点に切開します。これが原法との最大の違いです。また、この手術の鍵は、切開に使用する糸の全周通糸と言っても過言ではなく、その糸は挿入時のコシを考慮して5-0を採用し、先端は丸いマッチ棒の形状がベストです。

360° S-LOT変法は、生理的房水流出路再建術であるが故に全例に効果が約束されているわけではありませんが、眼圧効果が優れており、術後管理も容易である為、血管新生緑内障を除く開放隅角緑内障に対し、適応や注意点を考慮しFirst choiceとして行う価値のある術式と考えられます。

参考文献：眼科手術 第27巻第2号（2014年4月）「360° スーチャートラベクロトミー (S-LOT) 変法のコツ」  
陳 進輝（北海道大学）



- ◇ 型番：HS-2756
- ◇ 商品名：陳氏スーチャートラベクロトミー糸
- ◇ 入数：1箱5本入
- ◇ 素材：5-0ナイロン糸
- ◇ 定価：¥18,000

